

2020年度ZEH比率80%を目指し取り組みをさらに加速 2018年度新築戸建住宅ZEH比率79%、累積44,247棟、 新築集合住宅ZEH住戸累積244戸を達成

積水ハウス株式会社の2018年度の新築戸建住宅のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）比率が2018年度目標の76%を上回る79%※1となり、2013年から供給を開始した当社ZEH「グリーンファーストゼロ」の累積普及棟数は44,247棟（2019年3月末現在）となりました。

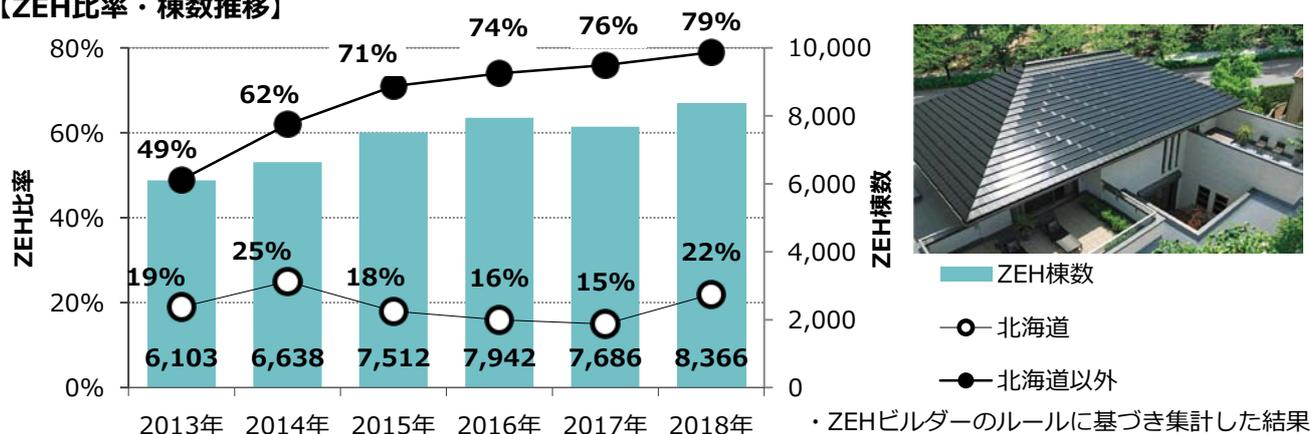
住戸数に対して相対的に屋根面積が小さく、1戸あたりの太陽光パネルの設置面積が不足するためZEHが難しいとされてきた集合住宅においても、2018年度に44棟のZEH-M、231戸のZEH住戸を供給し、累計45棟244戸となりました*2。これらの戸建及び集合のZEHによるCO₂排出削減効果は合計で年間16万t-CO₂*3となり、温暖化防止に大きく貢献しています。

- 2018年度新築戸建ZEH比率79%、累積供給棟数44,247棟を達成
- 新築集合住宅においてもZEH-M住棟44棟、ZEH住戸231戸を達成
- CO₂排出削減効果は、年間16万t-CO₂

<全国81支店のうち6支店がZEH比率90%超を達成、35支店が80%超>

政府は「2020年までにハウスメーカー等の新築注文戸建住宅の過半数をネット・ゼロ・エネルギー・ハウス化する」との方針を出しています。積水ハウスは2013年からZEH「グリーンファーストゼロ」の普及を開始しており、普及開始初年度に早くもZEH比率は49%（北海道を除く）、その後も順調にZEH比率を伸ばし、2018年度に79%を達成しました。営業力、設計力、技術力（施工力）の三位一体となった全社をあげた推進体制により、81支店（賃貸住宅支店を除く）のうち、35支店では既に2020年度の目標であるZEH比率80%超を達成し、このうち6支店ではZEH比率90%を超えています。この高いZEH比率により「2019年問題」卒FITのオーナー様の不安解消と満足度向上、自社の「RE100」達成の2つの課題を同時に解決する「積水ハウスオーナーでんき」などのビジネスモデルが可能となっています。

【ZEH比率・棟数推移】



今後も当社は環境大臣認定「エコ・ファースト企業」として、持続可能な社会の構築に向けて貢献できるよう低炭素による環境負荷軽減を推進し、ESG経営のリーディングカンパニーを目指してまいります。

※1 北海道/A登録 目標:30%、実績:22% 北海道以外の都府県/B登録 目標:76%、実績:79%

※2 ZEH-MはZEH-M OrientedからZEH-Mまで4種類に分類されますが、積水ハウスは太陽光発電を搭載しないZEH-M Orientedを除いてカウントしています。

※3 1990年における新築戸建住宅居住時のCO₂排出量と比較した場合の年間CO₂削減量

【本件についてのお問合せ】 積水ハウス株式会社 広報部

(大阪) TEL 06-6440-3021 (東京) TEL 03-5575-1740

(本社) 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

